

問1 南アメリカ大陸の統計資料において、周辺の国々がスペイン語を公用語としている中で、広大な面積を持つブラジルのみがポルトガル語を公用語としている理由として、最も適切なものはどれか。（2023年 神奈川県公立入試 類似）

1. 大航海時代に、ポルトガルがこの地域を植民地として支配したから。
2. 18世紀にイギリスで起こった産業革命の影響で、ポルトガル語が共通語として普及したから。
3. 第二次世界大戦後に、ブラジルがポルトガルの経済支援を受けて独立を果たしたから。
4. 古代から南アメリカ大陸全域において、ポルトガル語が原住民の共通言語であったから。

問2 フランシスコ・ザビエルが鹿児島に来航したことをきっかけに、キリスト教の布教とともに活発化した南蛮貿易について、当時の大名たちがこの貿易を積極的に推進した理由として最も適切なものはどれですか。（2016年 香川公立入試 類似）

1. 鉄砲や火薬といった強力な武器を入手して、軍事的な優位を築くため。
2. 勘合（符）を用いて倭寇と区別し、明との公的な貿易を独占するため。
3. 平清盛が整備した大輪田泊を利用して、中国の宋との交流を深めるため。
4. キリスト教を国教として定め、仏教勢力の不満を抑えるため。

問3 織田信長は、領国内の商工業を活発にし、人や物の往来を自由にするために、それまで交通の要所に設置され、通行税を徴収していた施設を廃止しました。信長が撤廃したこの施設を何といいますか。（2021年 滋賀公立入試 類似）

1. 関所
2. 座
3. 問屋
4. 宿場

問4 ポルトガルがアフリカを回る東回りのアジア航路を開拓した歴史的背景と、その後の日本への影響について述べた説明として最も適切なものはどれですか。（2018年 静岡公立入試 類似）

1. アジアへの航路が開かれたことで、種子島にポルトガル人が来航し鉄砲が伝えられた。
2. 大西洋を横断する西回り航路が開拓され、キリスト教が初めて日本に伝えられた。
3. 世界周航が行われた結果、日本にスペインの無敵艦隊が直接攻め込んできた。
4. 香辛料貿易の独占を目的として、ポルトガルにより日本への仏教伝来が支援された。

問5 豊臣秀吉が実施した「刀狩」の目的として、当時の社会状況に基づいた説明として最も適切なものを選択してください。（2022年 岩手県公立入試 類似）

1. 農民による一揆を防止するとともに、武士と農民の身分を明確に区別する兵農分離を進めるため。
2. 没収した武器の鉄や銅を溶かし、全国に流通させる貨幣の原料として再利用するため。
3. 農民をすべて兵士として雇い入れ、大陸への侵攻に向けた軍事力を強化するため。
4. 武器の所有を許可制にすることで、特定の有力な農民に村の自治を任せるため。

問6 安土桃山時代を象徴する桃山文化は、大規模な城郭建築や金箔を用いた障壁画など、豪壮で華やかな特徴を持っています。このような文化背景の中で千利休が果たした役割について、適切な説明はどれですか。（2022年 秋田県公立入試 類似）

1. 簡素な茶室の中で精神的な静寂を重んじる「わび茶」を大成させた
2. 浮世絵の技法を確立し、庶民の日常生活を色鮮やかに描いた
3. 人形浄瑠璃の脚本を書き、義理人情に厚い町人の物語を広めた
4. 日本独自の国風文化を確立し、かな文字を用いた文学作品を残した

問7 1543年に種子島へ鉄砲が伝来したことは、その後の日本の戦いの形を大きく変えることになりました。鉄砲の普及によって変化した当時の戦術の説明として、最も適切なものはどれですか。（2019年 長崎県公立入試 類似）

1. 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。
2. 弓矢の重要性が高まり、鉄砲の音で敵を威嚇する心理戦が主流となった。
3. 防御力重視のため、堀や石垣を設けない簡素な陣地での戦いが中心となった。
4. 接近戦を避けるため、水軍による海上からの攻撃のみが重視されるようになった。

問8 織田信長が行った「楽市・楽座」において、市場を活性化させるために廃止された、公家や寺社に税を納めることで独占販売などの特権を得ていた中世の同業者組合を何といいますか。（2024年 北海道公立入試 類似）

1. 座
2. 株仲間
3. 五人組
4. 守護

問9 安土桃山時代の文化において、豊臣秀吉に仕えた堺の豪商出身の人物で、当時の華やかな風潮とは対照的に、質素な中にも精神的な深みを見出す「わび茶」の作法を完成させたのは誰ですか。（2023年 山口公立入試 類似）

1. 千利休
2. 栄西
3. 足利義政
4. 世阿弥

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> 大航海時代に、ポルトガルがこの地域を植民地として支配したから。	大航海時代、ヨーロッパ諸国はキリスト教の布教や香辛料の貿易ルート確保を目指して海外進出を強めました。南アメリカ大陸においては、トルデシリャス条約などの取り決めや探検の結果、大陸の東側にあるブラジルがポルトガルの領土となり、それ以外の地域の多くがスペインの領土となりました。この植民地支配の歴史が、現在の言語分布に直接的な影響を与えています。
問2	<b>答え 1</b> 鉄砲や火薬といった強力な武器を入手して、軍事的な優位を築くため。	当時の九州をはじめとする戦国大名たちは、領国を強化するために最新の技術や兵器を求めていました。ポルトガル人などの南蛮商人と取引を行うためには、宣教師によるキリスト教の布教を許可することが条件となる場合が多く、大名たちは軍事的な利益（鉄砲や火薬の入手）を目的に貿易を奨励しました。中には自らキリスト教徒になるキリシタン大名も現れました。なお、勘合貿易は室町時代の、大輪田泊の整備は平安時代末期のできごとです。
問3	<b>答え 1</b> 関所	織田信長は、経済を活性化させ、軍事物資や情報の移動をスムーズにするために、交通の障害となっていた関所を撤廃しました。これにより、それまで課されていた通行税の負担がなくなり、商人が自由に移動できるようになったため、物流が大きく促進されました。
問4	<b>答え 1</b> アジアへの航路が開かれたことで、種子島にポルトガル人が来航し鉄砲が伝えられた。	インド航路の開拓によって東南アジア方面までポルトガルの勢力が進出した結果、1543年に種子島に漂着したポルトガル人によって日本に鉄砲が伝えられました。これは大航海時代におけるヨーロッパ諸国の拡大が、日本の戦国時代の戦術や社会構造に大きな変革をもたらす契機となった出来事です。
問5	<b>答え 1</b> 農民による一揆を防止するとともに、武士と農民の身分を明確に区別する兵農分離を進めるため。	刀狩は、戦国時代に武装していた農民から武器を奪うことで、一揆の発生を抑止する狙いがありました。同時に進められた「太閤検地」と合わせることで、耕作者と年貢の負担者を確定させ、軍事担当の「武士」と農業担当の「百姓」という身分の違いを固定化する「兵農分離」を完成させる重要な役割を果たしました。
問6	<b>答え 1</b> 簡素な茶室の中で精神的な静寂を重んじる「わび茶」を大成させた	桃山文化は、大名や豪商の富を象徴するような力強く豪華なものですが、千利休はそれとは対照的に、無駄を削ぎ落とした「わび茶」を大成させました。これは茶の湯を通じた精神的な交流や、質素な中にある美しさを追求するものでした。他の選択肢は、江戸時代の文化や平安時代の文化に関する説明です。
問7	<b>答え 1</b> 騎馬隊による一騎打ちを中心とした戦いから、足軽の集団による組織的な戦いへと変化した。	鉄砲は強力な武器ですが、装填に時間がかかるという欠点がありました。これを補うために、織田信長が長篠の戦いで見せたように、多数の足軽を組織して交代で撃たせるなどの集団戦術が編み出されました。これにより、個人の武勇よりも組織力が勝敗を分ける時代へと移行しました。
問8	<b>答え 1</b> 座	「座」は中世において有力な寺社や公家を本所（保護者）とし、独占的な営業権を持っていました。信長はこの特権を否定し、市場税を免除することで、新しく参入する商人たちが自由に取引できる体制を作り上げました。
問9	<b>答え 1</b> 千利休	堺の豪商出身で、織田信長や豊臣秀吉の茶頭として仕えました。それまでの豪華な茶の湯とは異なり、簡素な茶室で精神的な交流を重んじる「わび茶」を大成させ、後の日本文化に大きな影響を与えました。選択肢にある栄西は鎌倉時代に喫茶の習慣を伝え、足利義政は室町時代の東山文化において茶の湯を保護した人物です。